

米国（ネブラスカ州）から我が国向けに輸出される家きん及び家きん肉等の輸入停止措置について

平成23年4月11日

米国（ネブラスカ州）において弱毒タイプの鳥インフルエンザ（H7亜型）の発生が確認されたことから、本日、同州からの家きん及び家きん肉等の輸入を停止しました。



23消安第389号
平成23年4月11日

動物検疫所長 殿

消費・安全局長

米国（ネブラスカ州）から我が国向けに輸出される家きん及び家きん肉等の輸入停止措置について

今般、米国（ネブラスカ州）の家きん農場において弱毒タイプの鳥インフルエンザ（H7亜型）の発生が確認された旨、米国大使館からの情報提供があった。本疾病の我が国への侵入防止に万全を期すため、米国から日本向けに輸出される家きん、家きん肉等の取扱いについては、同州における鳥インフルエンザの清浄性が確認されるまでの間、下記のとおりとするので、動物検疫に当たっては的確に対応されたい。

記

1 輸入停止措置の対象地域

ノースカロライナ州、ミズーリ州及びネブラスカ州

※下線は、今回新たに輸入停止措置の対象とした地域

2 輸入停止措置の対象品目

- (1) 家きん（鶏、うずら、七面鳥、だちょう、きじ、ほろほろ鳥及びかも目の鳥類並びにその初生ひなに限る。以下同じ。）
- (2) 家きんの肉及び臓器並びにこれらの加工品
- (3) 家きんの卵（試験研究用に供される種卵を除く。）及びその加工品（「米国から日本向けに輸出される加熱処理された液卵製品に関する衛生条件」（平成16年12月10日付け16消安第7136号）に基づいて処理された加熱処理液卵を除く。）

3 輸入検査時における消毒措置の対象品目

羽毛